

KENWOOD

MDレシーバー

RX-760MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

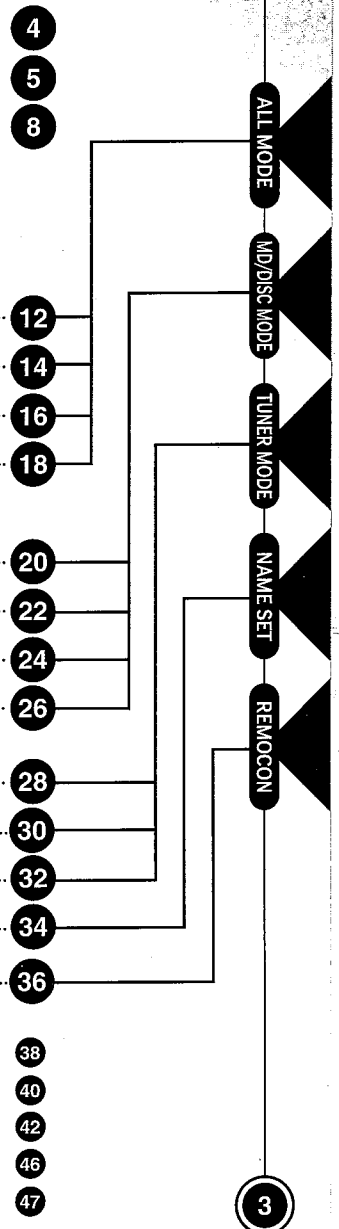


この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

© PRINTED IN JAPAN B64-1304-00 (J) (MC)
00/4 3 2 1 99/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2

CONTENTS

安全上のご注意	
この取扱説明書の読み方	4
安全上のご注意	5
使用上のご注意	8
操作のしかた	
ALL MODE	
パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、 モードチェンジ、時計表示	12
オーディオコントロール、ラウドネス、 メニューモード	14
時計調整、トラフィックインフォメーション、 ピープ音、コントラスト調整	16
ディマー調整、グラフィック設定、 トラフィックインフォメーションボリューム、パネルオープン	18
MD/DISC CONTROL MODE	
ディスクプレイ、ポーズ、イジェクト、 エクストラディスクプレイ、早送り/早戻し	20
トラックサーチ、ディスクサーチ、リピートプレイ	22
トラックスキャンプレイ、ディスクスキャンプレイ	24
トラックランダムプレイ、マガジンランダムプレイ、 テキストスクロール設定	26
テキストスクロール、ディスプレイ切り替え セレクトバイファイル	26
TUNER MODE	
チューニング、チューニングモード	28
マニュアルメモリー、オートメモリー、 モノラル受信	30
ローカル受信設定、ディスプレイ切り替え、 セレクトバイファイル	32
NAME SET	34
REMOTE CONTROL	36
取り付け上のご注意	38
接続・取り付けかた	40
故障かな?と思ったら	42
保証とアフターサービス	46
仕様一覧	47



RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-760MD

この取扱説明書の読み方

- 機能の名称が書いてあります。

パワーオン

電源を入れる



SRCボタンを押す。

MEMO ▶ すべての操作は電源オン中に行ってください。

- 機能の簡単な説明が書いてあります。

- 操作に関する補足説明が書いてあります。

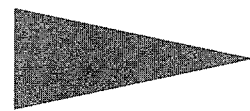


ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

MEMO ▶ 本取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはあり得ない表示パターンが記載されていることがあります。



ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用の前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

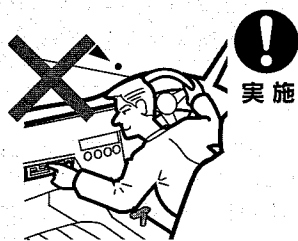
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

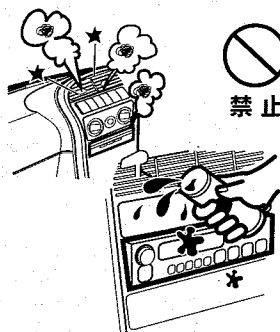
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- 音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



禁止

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

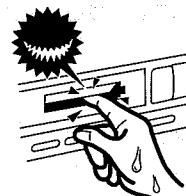
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

■ 本機に接続できるディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, およびKMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

なお、"CA-DS100"または"CA-KD20"を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A/S200を使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S210A/S200に付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210またはKDC-C206を接続した場合、これらのCDチェンジャーの"O-Nスイッチ"は"N"側に設定してください。また、上記CDチェンジャー以外ではCDテキスト表示を行えません。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

■ 取り付け時の注意

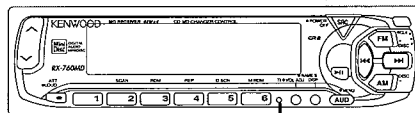
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

■ セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

■ セットの異常にお気づきのときは

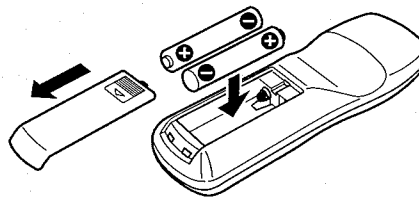
万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リセットボタン

■ リモコンの電池について

付属の乾電池（単四型2本）を⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。

また、電池は子供の手の届かないところ置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

■ 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

使用上のご注意

温度について

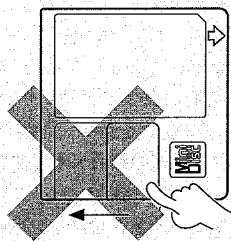
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタンを押してください。

MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。(お手入れの際、シャッターを開かないようご注意ください。)

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分に指が触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

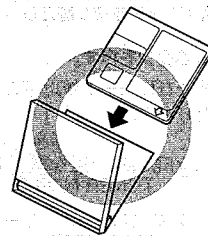


ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

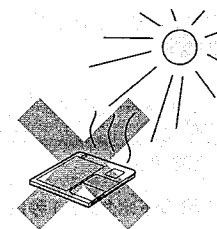


データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所(ダッシュボードの上など)など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



レンズクリーナーについて


レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

ALL MODE 共通機能

ALL MODE


パワーオン

電源を入れる

-  SRC ボタンを押す。
電源をオフにしたときのモードになります。



パワーオフ

電源を切る

-  PWR OFF ボタンを1秒以上押す。



ボリューム

音量を調整する

-  ▶ 音量を大きくする
へボタンを押す。
-  ▶ 音量を小さくする
∨ボタンを押す。


アッテネーター

音量をすばやく小さくする

-  ATT ボタンを押す。
アッテネーターがON中はATTインジケータが点滅します。
-  ▶元の音量に戻す
ATT ボタンを押す。

モードチェンジ


聴くメディアを切り替える

-  SRC ボタンを押す。
押すたびにモードが以下のように切り替わります。

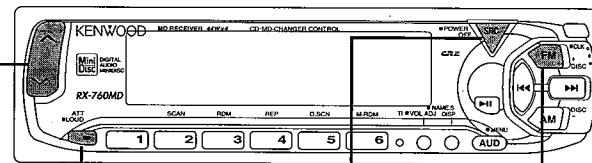
- TUNER : FM/AM放送を聴くモード (TUNER MODE)
 - ▼
 - MD : MD演奏を聴くモード (MD MODE)
 - ▼
 - CD : 接続したCDプレーヤーの演奏を聴くモード (DISC CONTROL MODE)
 - ▼
 - DISC : 接続したCD/MDチェンジャーの演奏を聴くモード (DISC CONTROL MODE)
- 使用できないモードにはなりません。

時計表示

時刻やその他の表示に切り替える

-  CLK ボタンを1秒以上押す。
押すたびに以下のように表示が切り替わります。

- グラフィックディスプレイ
- ▼
- トラックタイム(ディスプレイ中)
- ▼
- トラックナンバー(ディスプレイ中)
- ▼
- 時計




 ATT ボタン

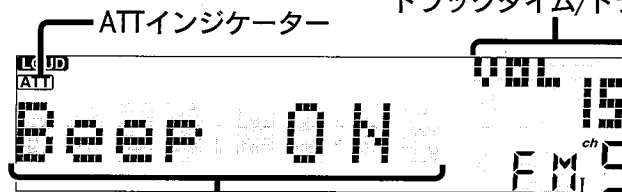
 CLK ボタン

 ∨/∧ ボタン

 SRC ボタン

 PWR OFF ボタン

ボリューム/グラフィック/時計/
トラックタイム/トラックナンバー表示



モード表示

ALL MODE 共通機能

オーディオコントロール

音質や音量バランスを調整する

- AUD** ボタンを押す。
オーディオコントロールモードになります。
- FM** ボタンまたは**AM** ボタンを押す。
押すたびに調整できるモードが以下のように切り替わります。
 - BAS** : 低音調整モード
(調整範囲: -4 ~ +4)
 - TRE** : 高音調整モード
(調整範囲: -4 ~ +4)
 - BAL** : 左右音量バランス調整モード
(調整範囲: L[左]15 ~ R[右]15)
 - FAD** : 前後音量バランス調整モード
(調整範囲: F[前]15 ~ R[後]15)

- ◀▶** ボタンまたは**▶▶** ボタンを押す。
それぞれのモードを調整できます。

- 解除する
AUD ボタンを押す。

MEMO ▶ 低音と高音の調整は、MD、FM 放送、AM 放送、および接続されているチェンジャー/プレイヤーの CD/MD を聴いているとき、それぞれのモードごとにできます。

ラウドネス

高音と低音を補正してメリハリのある音質にする

- A** **LOUD** ボタンを1秒以上押す。
ラウドネスがONになると**LOUD**インジケーターが点灯します。
- A** ▶ 元の音質に戻す
LOUD ボタンを1秒以上押す。

メニューモード

初期状態を設定する

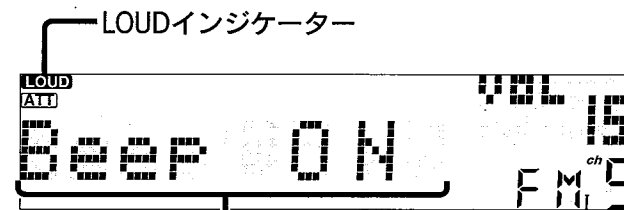
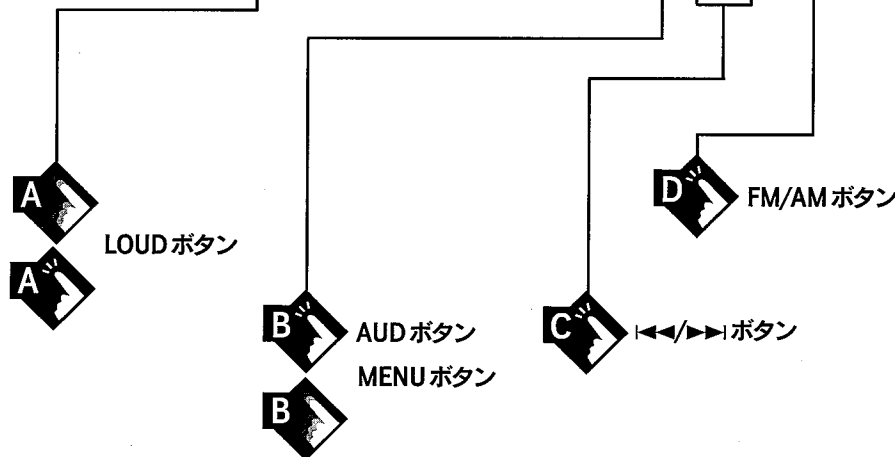
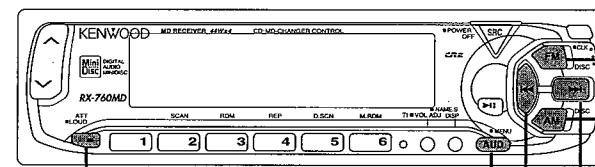
- B** **MENU** ボタンを1秒以上押す。
- メニュー項目を選ぶ
◀▶ ボタンまたは**▶▶** ボタンを押す。
押すたびにメニュー項目が以下のように選択できます。

- BEEP ON/OFF** : ビープ音
- CLK ADJ** : 時計調整
- CONT 0~10** : コントラスト調整
- DIM ON/OFF** : ディマー設定
- GRAP ON/OFF** : グラフィック設定
- LO.S ON/OFF** : ローカル受信設定
(チューナーモード中に選択可能)
- Auto1/Auto2/Manual** : チューニングモード設定
(チューナーモード中に選択可能)
- A-Memory** : オートメモリー
(チューナーモード中に選択可能)
- MONO ON/OFF** : モノラル受信
(チューナーモードでFM放送を受信中に選択可能)
- SCL MANU/AUTO** : テキストスクロール設定
(MD/ディスクコントロールモード中に選択可能)

- 設定の変更・調整をする
FM ボタンまたは**AM** ボタンを押す。

- 終了する
B **MENU** ボタンを押す。

MEMO ▶ MENU MODEは本機の初期設定を変更・調整できるモードです。各メニュー項目の詳しい設定内容や手順は各モード別のページに説明がされています。下記ページを参照ください。
 ビープ音/時計調整/コントラスト調整: P.16
 ディマー設定/グラフィック設定: P.18
 テキストスクロール設定: P.24
 チューニングモード設定: P.28
 オートメモリー/モノラル受信設定: P.30
 ローカル受信設定: P.32



オーディオコントロールモード/
/メニュー項目表示

ALL MODE 共通機能

時計調整

時刻を調整する

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- C** 2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“CLK ADJ” と表示されるまで押す。
- D** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを2秒以上
上押す。
時計調整モードに入り、時計表示
が点滅します。
- C** 4. FM/AM ボタンと◀◀/▶▶ ボタンを
押す。
FM/AM ボタンで“時間”を調整でき
ます。
◀◀/▶▶ ボタンで“分”を調整でき
ます。
- B** ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。

トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く

- A** TI ボタンを押す。
交通情報局 (1620kHz、1629kHz、
または522kHz) を受信します。
トラフィックインフォメーションがON
のときはTIインジケータが点灯しま
す。
- C** ▶ 周波数を変更する
◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。
- A** ▶ 解除する
TI ボタンを押す。

ビーブ音

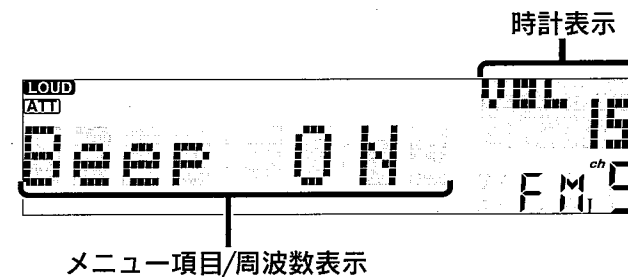
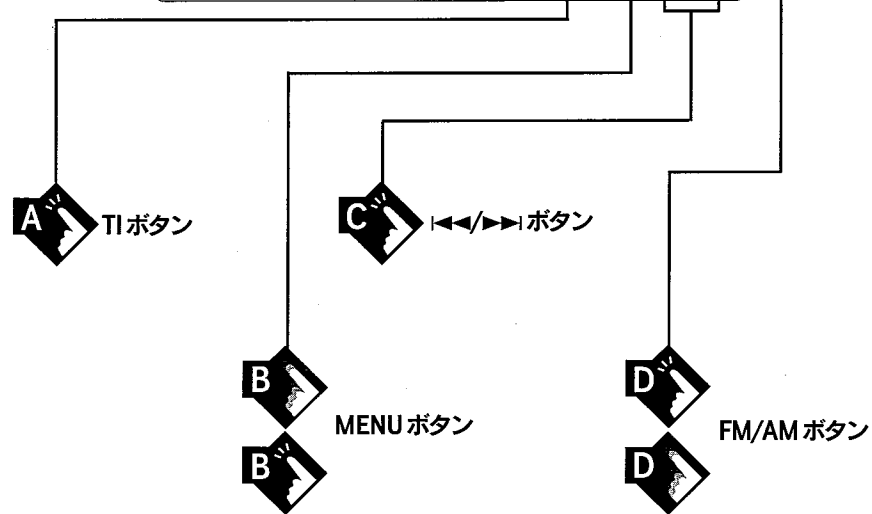
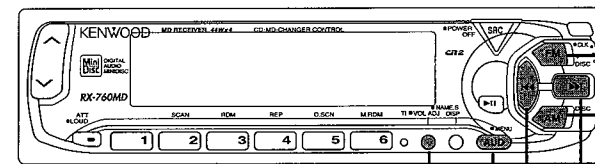
ボタンを押したときの操作確認音を
ON/OFF する

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- C** 2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“Beep ON” または “Beep OFF”
と表示されるまで押す。
- D** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに “Beep ON” 表示と
“Beep OFF” 表示とが切り替わり
ます。
“Beep ON” 表示：ボタンを押した
ときに操作音が鳴ります。
- B** ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。

コントラスト調整

ディスプレイを見やすいように設定する

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- C** 2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“CONT 0~10” と表示されるまで
押す。
- D** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
FM ボタンを押すと調整値が上がり
コントラストが高くなります。
AM ボタンを押すと調整値が下がり
コントラストが低くなります。
0から10の間で調整できます。
- B** ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。



ALL MODE 共通機能

デイマー設定

車のライトスイッチをONにしたときにディスプレイを暗くする

- C** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- D** 2. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“DIM ON” または “DIM OFF” と
表示されるまで押す。
- E** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに “DIM ON” 表示と
“DIM OFF” 表示とが切り替わりま
す。
“DIM ON” 表示：車のライトスイ
ッチをONにすると本機のディス
プレイが自動的に減光されます。

C ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。

グラフィック設定

グラフィック表示の動きを設定する

- C** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- D** 2. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“GRAP ON” または “GRAP OFF”
と表示されるまで押す。
- E** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに “GRAP ON” 表示と
“GRAP OFF” 表示とが切り替わり
ます。
“GRAP ON” 表示：グラフィック表
示が動きます。

C ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。

トラフィックインフォメーションボリューム

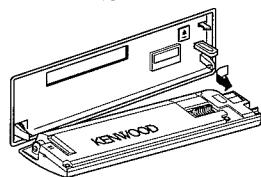
交通情報受信中の音量を設定する

- B** 1. トラフィックインフォメーションを
ONにして、設定したい音量にする。
- B** 2. VOL ADJ ボタンを2秒以上押す。
設定されると音量表示が1回点減
します。
次回からトラフィックインフォメ
ーションモードにすると、自動的に、
この設定した音量になります。

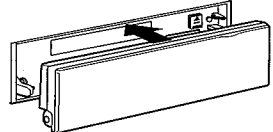
パネルオープン

操作パネルを開ける・取り外す

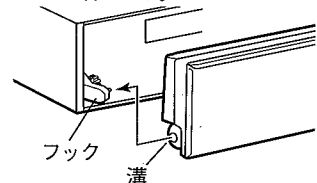
- A** ▶ パネルを開ける
オープンボタンを押す。
- ▶ パネルを取り外す
パネルを開けて、左側に押しなが
ら手前に引く。



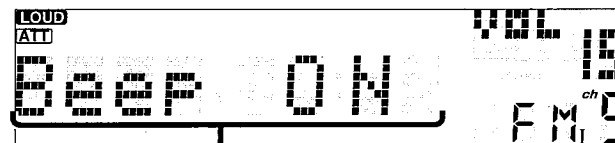
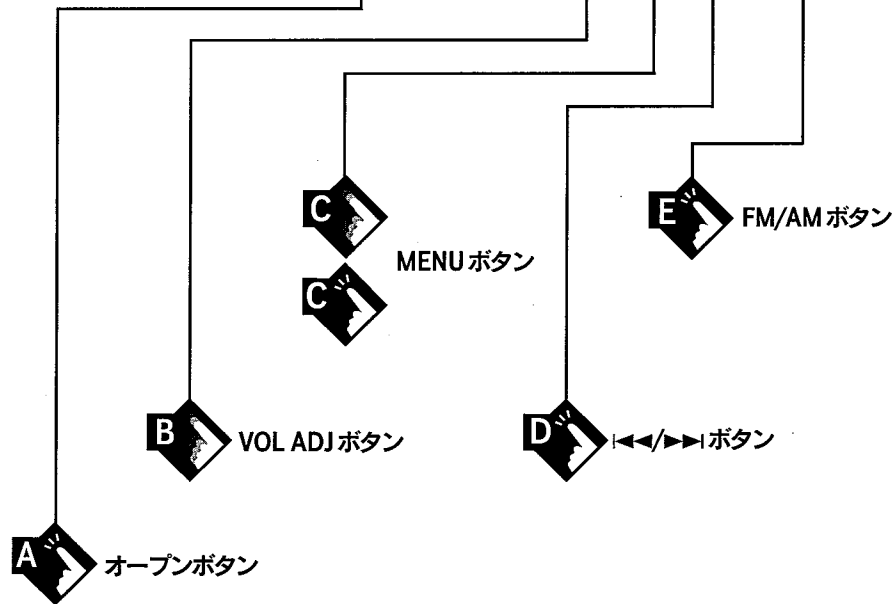
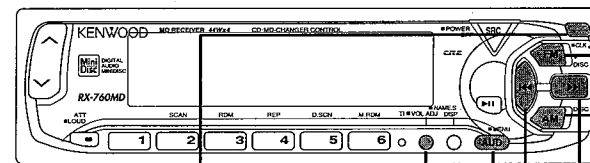
- ▶ パネルを取り付ける
パネルを本体に合わせて、ロック
するまで押す。



パネルを取り付けにくいときは、パ
ネルの左側にある溝をフックに合わ
せてから押します。



フック
溝



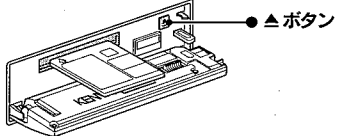
メニュー項目表示

MD/DISC CONTROL MODE

ディスプレイ

本機でMDを再生する

- ▶ MDが入っていないとき
 1. オープンボタンを押す。
パネルが開きます。
 2. MDをMD口に入れます。
MDを軽く押すと引き込まれて、演奏が始まります。
 3. パネルの右側を指で押して元に戻します。
パネルはロックするまで押します。



- ▶ MDが入っているとき
(:IN:インジケータ点灯時)
SRCボタンを“MD”と表示がされるまで押す。

MEMO

- ▶ パネルを閉めるときは、MDが完全に引き込まれたことを確認してから行ってください。
- ▶ パネルを開けたときに車のシフトレバーなどに当たり、MDの挿入・イジェクトができない場合があります。このような場合は、車両操作上の安全に注意し、シフトレバーを動かすなどしてパネルを開ける状態にしてから行ってください。
- ▶ 開いているパネルに強い力を加えたり、物を置いたりしないでください。パネルが破損して故障の原因になります。
- ▶ パネルを開いたまま使用すると内部にホコリなどが入り、故障の原因になります。通常はパネルを閉めた状態で使用してください。

ポーズ

ディスクの再生を一時停止する

- B** ▶|| ボタンを押す。
押すたびにディスクの再生がポーズ/レイします。

イジェクト

本機にセットされているMDを取り出す

- ▲ ボタンを押す。

エクストラディスプレイ

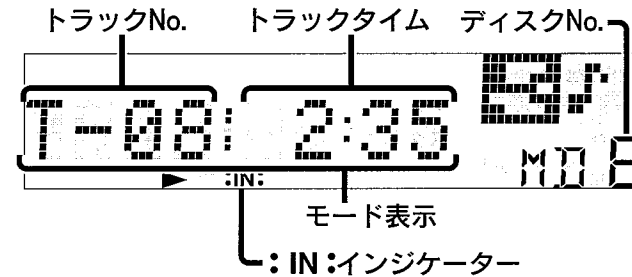
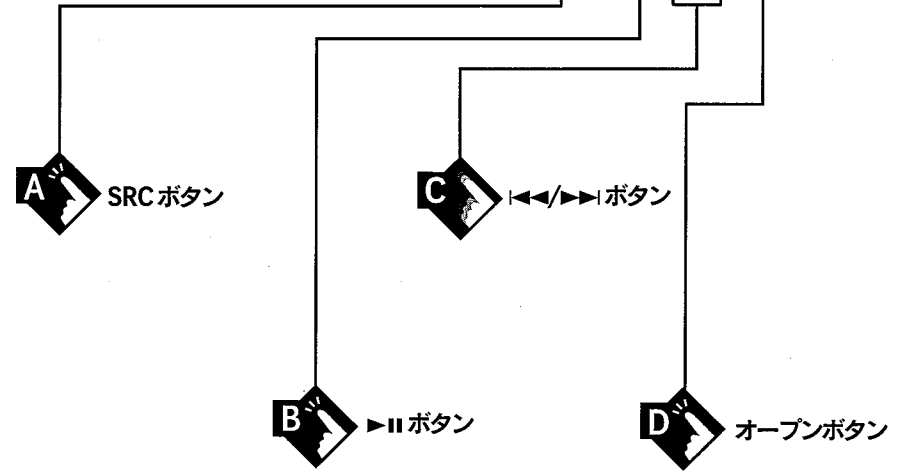
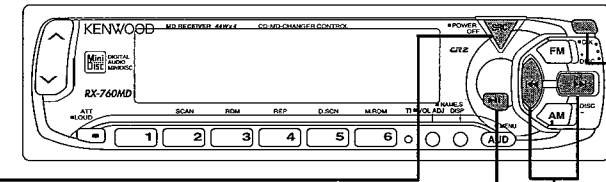
接続したチェンジャー/プレーヤーでMD/CDを聴く

- A** SRCボタンを“CD”または“DISC”と表示がされるまで押す。
接続しているディスクチェンジャーまたはCDプレーヤーにセットされている、MDまたはCDの再生が始まります。

早送り/早戻し

聴きたい演奏か所を選ぶ

- C** ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押し続ける。
◀◀ ボタンを押し続けると手前へ早戻しし、▶▶ ボタンを押し続けると先へ早送りします。希望の所で指を離します。



MD/DISC CONTROL MODE

トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ



◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。
 ◀◀ ボタンを押すと手前の曲になり、
 ▶▶ ボタンを押すと先の曲になります。
 聴きたい曲のトラックナンバーが表示されるまで押します。

ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ
 (ディスクチェンジャーの機能)



- ボタンまたは + ボタンを押す。
 - ボタンを押すと手前のディスクになり、
 + ボタンを押すと先のディスクになります。
 聴きたいディスクナンバーが表示されるまで押します。
 ディスクナンバー10を選択時は“0”と表示されます。

リピートプレイ

同じ曲/同じディスクを繰り返し聴く
 (ディスクリピートはディスクチェンジャーの機能)



REP ボタンを押す。
 押すごとにリピートプレイモードが以下のように切り替わります。

- トラック : 今聴いている曲を
 リピートON 繰り返し再生します。
- ディスク : 今聴いているディスクを
 リピートON 繰り返し再生します。
- リピートOFF

トラックリピート中はトラックナンバーが点滅します。
 ディスクリピート中はディスクナンバーが点滅します。

トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す



1. トラックスキャンプレイを始める
 SCAN ボタンを押す。
 聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。
 トラックスキャンプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



2. 聴きたい曲の再生が始まったら
 SCAN ボタンを押す。
 トラックスキャンが解除され、通常のディスクプレイになります。

ディスクスキャンプレイ

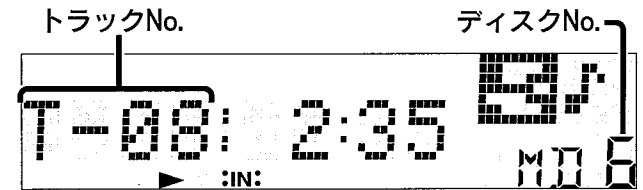
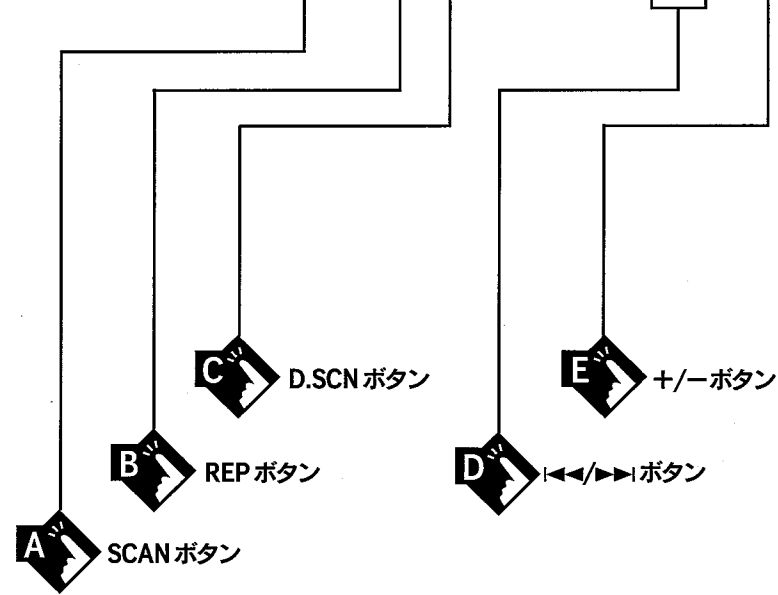
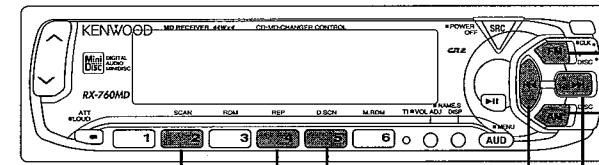
聴きたいディスクを探す
 (ディスクチェンジャーの機能)



1. ディスクスキャンプレイを始める
 D.SCN ボタンを押す。
 ディスクマガジンにセットされているディスクの最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。
 ディスクスキャンプレイ中はディスクナンバーが点滅します。



2. 聴きたいディスクの再生が始まったら
 D.SCN ボタンを押す。
 ディスクスキャンが解除され、通常のディスクプレイになります。



MD/DISC CONTROL MODE

トラックランダムプレイ

ディスクから曲をランダムに選択して再生する

- A** RDM ボタンを押す。
ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。
- D** ▶ほかの曲を聴く
▶▶ ボタンを押す。
- A** ▶解除する
RDM ボタンを押す。

マガジンランダムプレイ

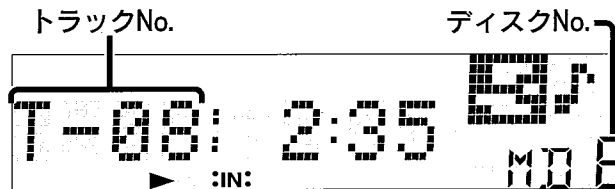
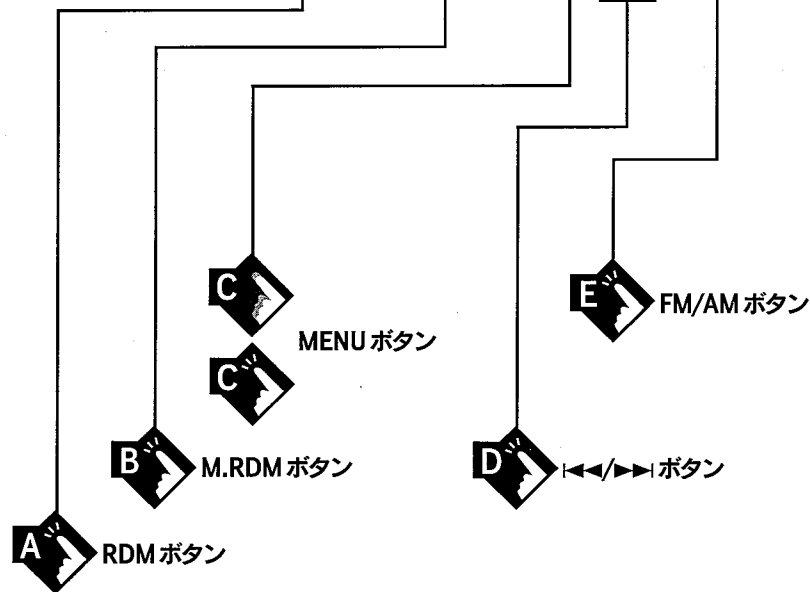
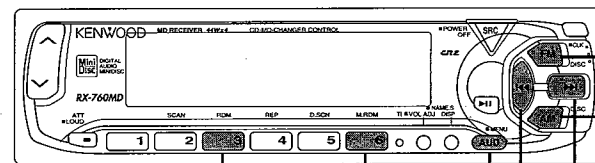
マガジンにセットされているディスクから曲をランダムに選択して再生する
(ディスクチェンジャーの機能)

- B** M.RDM ボタンを押す。
マガジンランダムプレイ中はディスクナンバーとトラックナンバーが点滅します。
- D** ▶ほかの曲を聴く
▶▶ ボタンを押す。
- B** ▶解除する
M.RDM ボタンを押す。

テキストスクロール設定

MDタイトル/CDテキストのスクロール方法を設定する

- C** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- D** 2. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“SCL Auto” または “SCL Manu” と表示されるまで押す。
- E** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに “SCL Auto” 表示と “SCL Manu” 表示とが切り替わります。
“SCL Auto” 表示：MD タイトル / CD テキストを自動的にスクロール表示します。
“SCL Manu” 表示：MD タイトル / CD テキストを必要ときに手動でスクロール表示できます。
- C** ▶終了する
MENU ボタンを押す。



MD/DISC CONTROL MODE

テキストスクロール

MDタイトル/CDテキストをスクロール表示する

- A** テキストスクロールが“SCL Auto”に設定されているとき
ディスク/トラックタイトル表示中にDISPボタンを1秒以上押す。
MDタイトル/CDテキストの最初の文字からスクロールを再開します。
- A** テキストスクロールが“SCL Manu”に設定されているとき
ディスク/トラックタイトル表示中にDISPボタンを1秒以上押す。
MDタイトル/CDテキストが1回スクロール表示します。

ディスプレイ切り替え

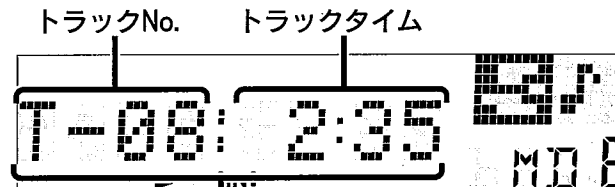
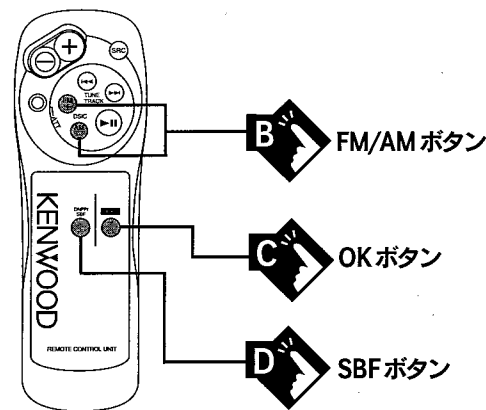
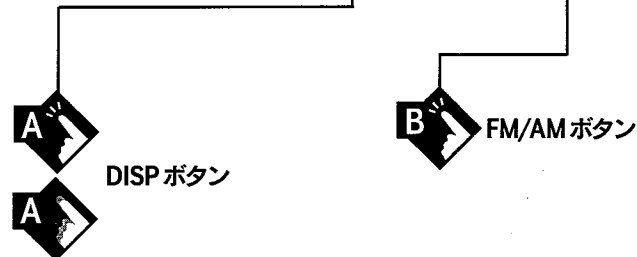
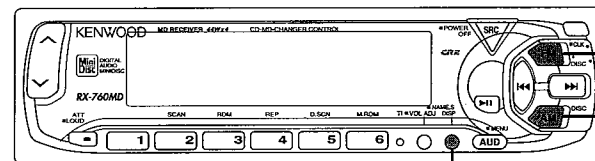
表示される情報を切り替える

- A** DISPボタンを押す。
押すたびに以下のように表示が切り替わります。
- トラックタイム
ディスクネーム(CD/MDチェンジャーのみ)
ディスクタイトル
トラックタイトル

セレクトバイファイル

ディスクネームから聴くディスクを選ぶ
(ディスクチェンジャーの機能)

1. ディスクチェンジャーモードにする。
2. リモコンのSBFボタンを押す。
セレクトバイファイルモードになると“DNPP”と表示されます。
チェンジャーのマガジンにセットされているディスクの中で、ディスクネーム(P.34)が設定されているディスクの名前が5秒間ずつ次々に表示されます。
- B** 表示を送る・戻す
FMボタンまたはAMボタンを押す。
AMボタンを押すと表示を戻し、FMボタンを押すと表示を送ります。
- C** 聴きたいディスクが表示されたら
3. リモコンのOKボタンを押す。
表示されているディスクの再生が始まります。
- D** ディスクを選ばずに解除する
リモコンのSBFボタンを押す。



ディスクネーム/ディスクタイトル
/トラックタイトル表示

TUNER MODE

チューニング

AM/FM放送を聴く

A ▶ チューナーに切り替える
SRCボタンを“TUNER”と表示がされるまで押す。

D ▶ バンドを切り替える
AMボタンまたはFMボタンを押す。
AMボタンを押すとAMバンドに切り替わります。FMボタンを押すたびにFM1バンド、FM2バンド、FM3バンドの順に切り替わります。バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。

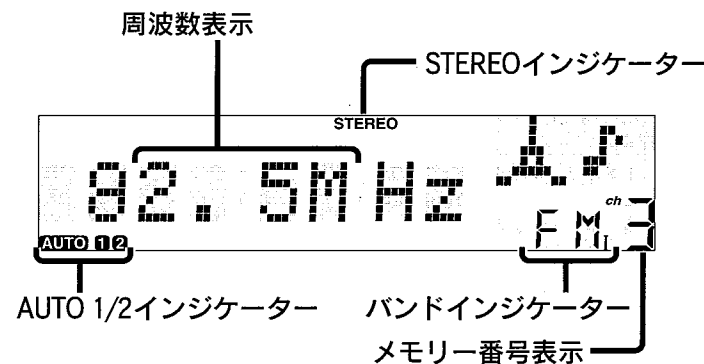
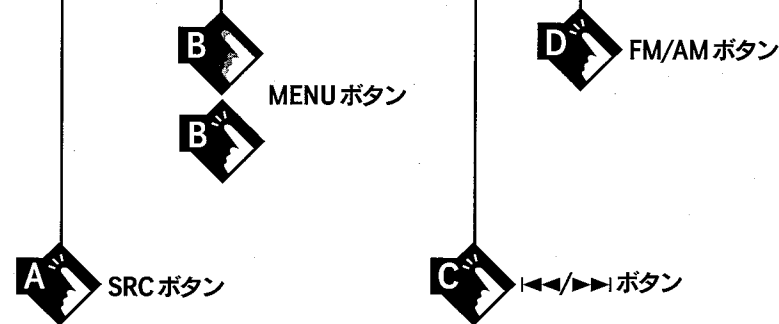
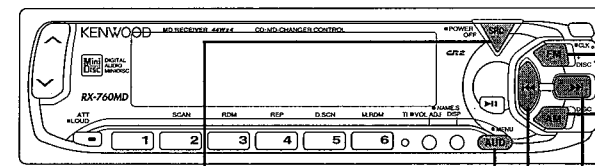
C ▶ 放送局を替える
◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。
オートチューニング1モード時：
◀◀ボタンを押すと低い周波数の放送局を探し、▶▶ボタンを押すと高い周波数の放送局を探します。
オートチューニング2モード時：
◀◀ボタンを押すと小さいメモリー番号の放送局を受信し、▶▶ボタンを押すと大きいメモリー番号の放送局を受信します。
マニュアルチューニングモード時：
◀◀ボタンを押すと周波数が1ステップ下がり、▶▶ボタンを押すと周波数が1ステップ上がります。

FMステレオ放送を受信するとSTEREOインジケータが点灯します。

チューニングモード

選局方法を切り替える

- B** 1. MENUボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- C** 2. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを“Auto 1”、“Auto 2”、または“Manual”と表示されるまで押す。
- D** 3. FMボタンまたはAMボタンを押す。
押すたびに“Auto 1”、“Auto 2”、“Manual”の順に表示が切り替わります。
“Auto 1”表示：オートチューニング1モードになっています。
“Auto 2”表示：オートチューニング2モードになっています。
“Manual”表示：マニュアルチューニングモードになっています。
- B** ▶ 終了する
MENUボタンを押す。



TUNER MODE

マニュアルメモリー

放送局をメモリーする

- A** 周波数をメモリーするメモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押す。
受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーナンバー表示が1回点滅します。
AM、FM1、FM2、およびFM3の各バンドで、1つのメモリーボタンに1つの周波数がメモリーできます。

- A** メモリーした放送局を呼び出すメモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

オートメモリー

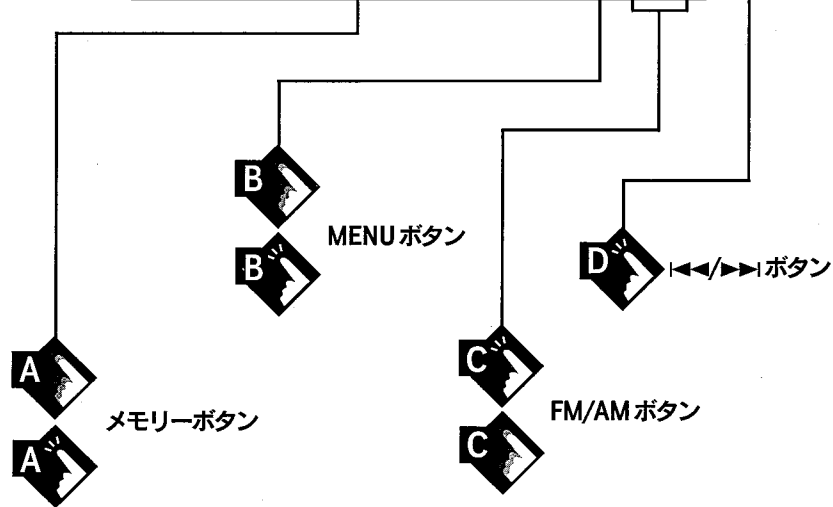
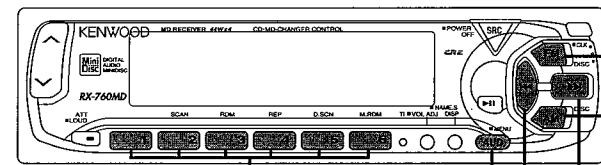
放送局を自動的に探してメモリーする

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- D** 2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを“A-Memory”と表示されるまで押す。
- C** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを2秒以上押す。
オートメモリーが始まり、現在のバンドに6局メモリーするか受信可能な放送局をすべてメモリーするとオートメモリーは終了します。
- A** メモリーされた放送局を呼び出すメモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

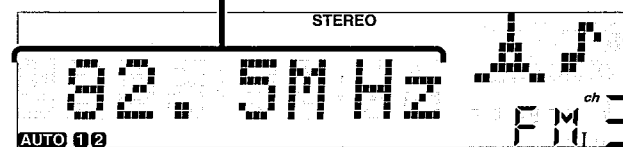
モノラル受信設定

FM放送をモノラル受信する

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- D** 2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを“MONO ON”または“MONO OFF”と表示されるまで押す。
- C** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに“MONO ON”表示と“MONO OFF”表示とが切り替わります。設定したい表示にします。“MONO ON”表示：モノラル受信がONになっています。
- B** 終了するMENU ボタンを押す。



メニュー項目/周波数表示



メモリー番号表示

TUNER MODE

ローカル受信設定

オートチューニング1/オートメモリー時に受信状態の良い放送局だけを受信する

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。
メニューモードに入ります。
- C** 2. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを
“LO.S ON” または “LO.S OFF” と
表示されるまで押す。
- D** 3. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに “LO.S ON” 表示と
“LO.S OFF” 表示とが切り替わり
ます。設定したい表示にします。
“LO.S ON” 表示：ローカル受信が
ONになっています。オートチュー
ニング1モード中とオートメモリー
時は、受信状態の良い放送局だけ
を探します。
- B** ▶ 終了する
MENU ボタンを押す。

ディスプレイ切り替え

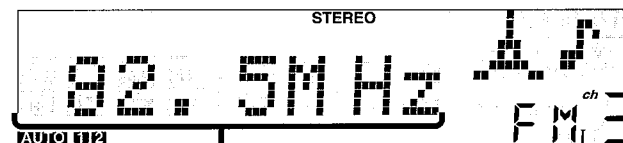
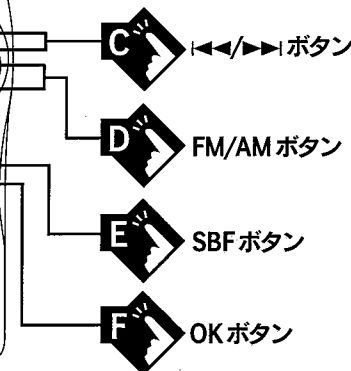
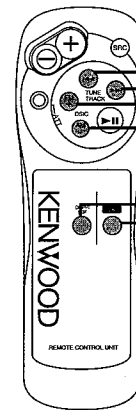
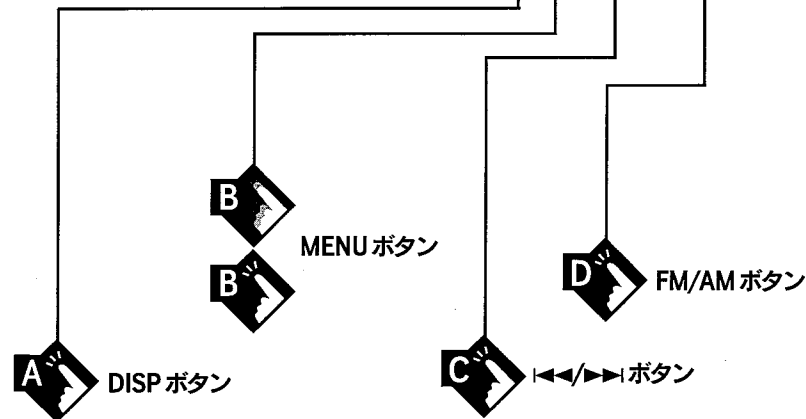
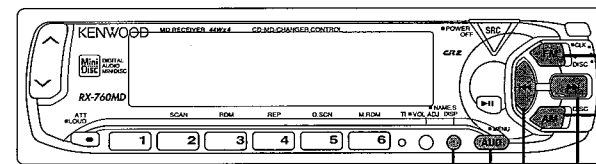
表示される情報を切り替える

- A** DISP ボタンを押す。
押すごとに以下のように表示が切り替
わります。
- 周波数
ステーションネーム
(ステーションネーム設定をしてある
放送局を受信中のみ選択可能)

セレクトバイファイル

メモリーしてある放送局から受信する局
を選ぶ

- E** 1. チューナーモードにする。
- E** 2. リモコンのSBF ボタンを押す。
セレクトバイファイルモードにな
ると “SNPP” と表示されます。
メモリーしている放送局の周波数ま
たはネームセットされている周波数
はステーションネーム (P.34) が5
秒間ずつ次々に表示されます。
- C** ▶ 表示を送る・戻す
◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。
◀◀ ボタンを押すと表示を戻
し、▶▶ ボタンを押すと表示を送り
ます。
- D** ▶ 表示順序を切り替える
FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
FM ボタンを押すとFM1、FM2、
FM3、AMの順に表示され、AMボ
タンを押すとAM、FM3、FM2、
FM1の順に表示されます。
- F** 3. リモコンのOK ボタンを押す。
聴きたい放送局が表示されたら
表示されている放送局を受信しま
す。
- E** ▶ 放送局を選ばずに解除する
リモコンのSBF ボタンを押す。



メニュー項目/ステーションネーム/周波数表示

NAME SET

ネームセット

放送局やチェンジャーのディスクに名前を付ける

1. 名前を付けたい放送局・ディスクを受信・再生する。

MEMO ▶ ディスクに名前を付けるときは、表示をディスクタイトルまたはトラックタイトル以外にしてください。
▶ ディスクスキャンプレイとマガジンランダムプレイは解除してください。
▶ トラフィックインフォメーションモード中に受信している放送局には名前を付けることはできません。チューナーモードで受信をしてください。

2. NAME.S ボタンを2秒以上押す。
ネームセットモードに入り、“NAME SET”と表示されます。

3. カーソルの位置を移動する。
3.1 ◀ または ▶▶ ボタンを押す。

4. 文字の種類を選ぶ。
▶▶ ボタンを押す。
押すたびに以下のように文字種が切り替わります。

- ↓ アルファベット大文字
- ↓ アルファベット小文字
- ↓ 数字/記号
- ↓ カタカナ

5. FM/AM ボタンを押す。

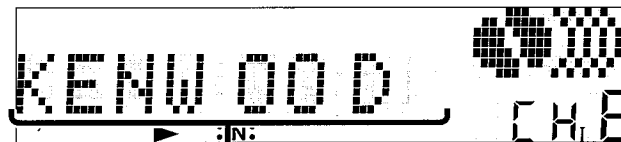
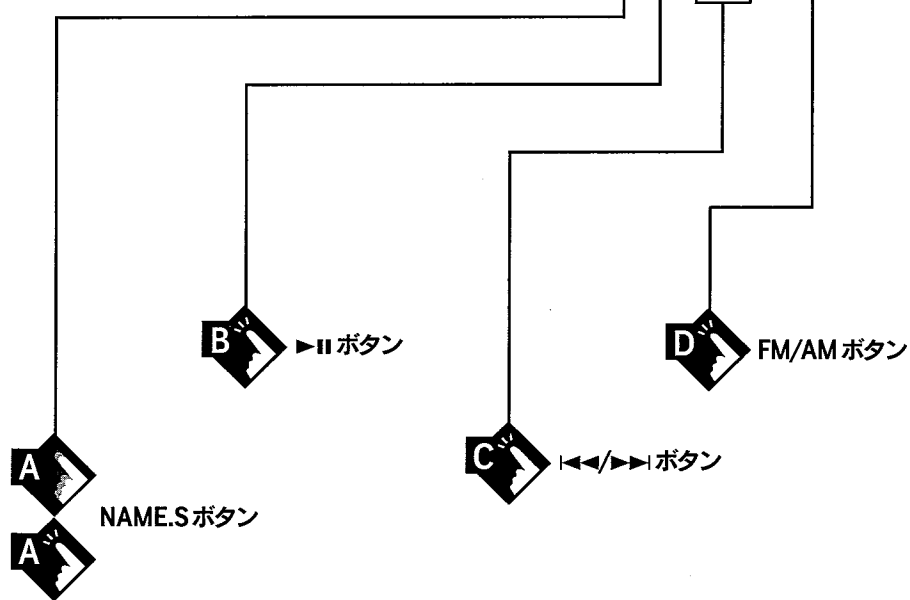
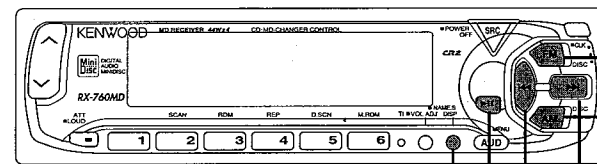
6. 手順3から5の操作を繰り返して名前を完成する。

放送局に名前が付けられる局数は、FMバンドで32局、AMバンドで16局です。
名前が付けられるディスクの枚数は、使用するCDチェンジャー、MDチェンジャーによって異なります。CDチェンジャーおよびMDチェンジャーに付属の取扱説明書を参照してください。

7. NAME.S ボタンを押す。
または、10秒間操作をやめる。

ネームセットモードを終了する
ネームセットモードを終了した時点で表示されている名前が、周波数にはステーションネームとして、ディスクにはディスクネームとして登録されます。

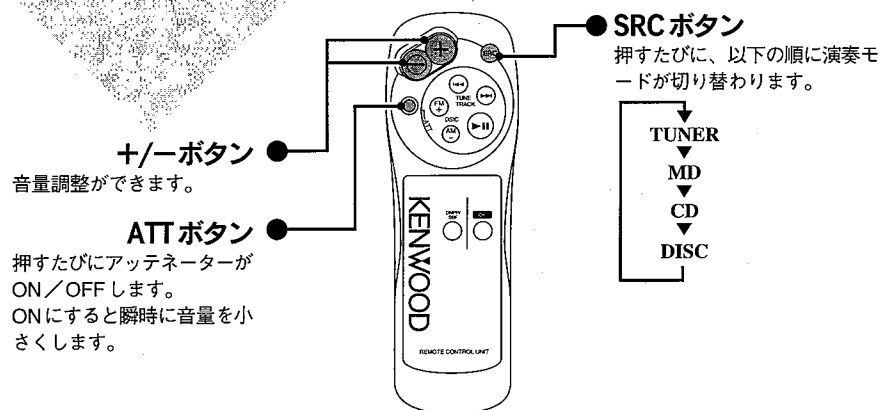
MEMO ▶ 名前を変える
手順2の後、現在付いている名前が表示されます。この名前を手順3から5の操作で変更することにより変更ができます。



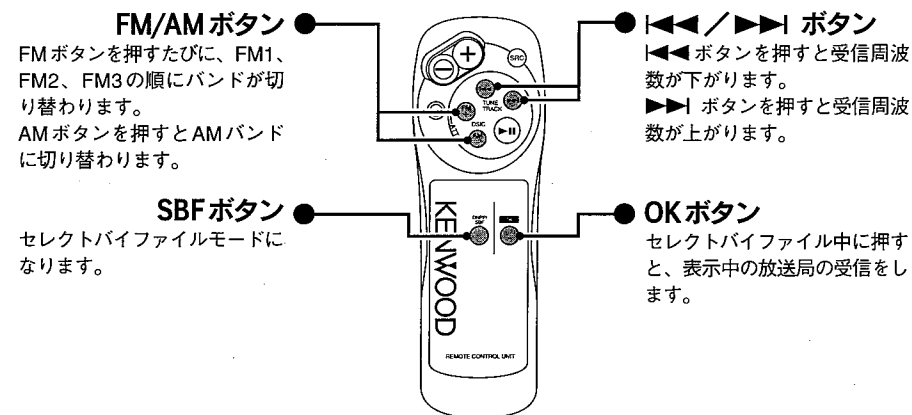
ディスクネーム/ステーションネーム表示

REMOTE CONTROL

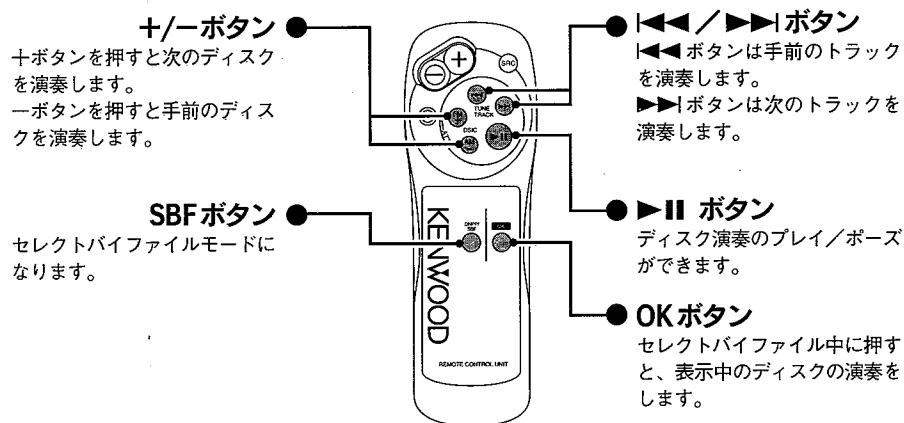
ALL MODE



TUNER MODE



MD/DISC CONTROL MODE



取り付け上のご注意

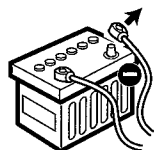
警告



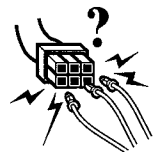
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



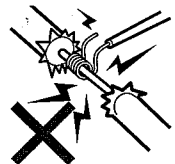
配線作業中は、バッテリーの端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



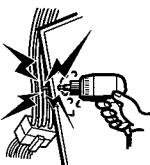
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続・取り付けかた

●接続

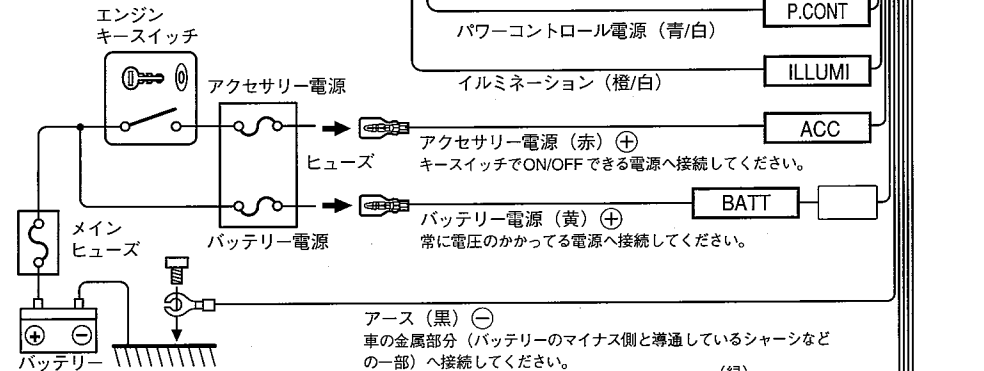
取り付け手順

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-760MDに接続します。
6. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンにしてリセットボタンを押します。（※P.8）

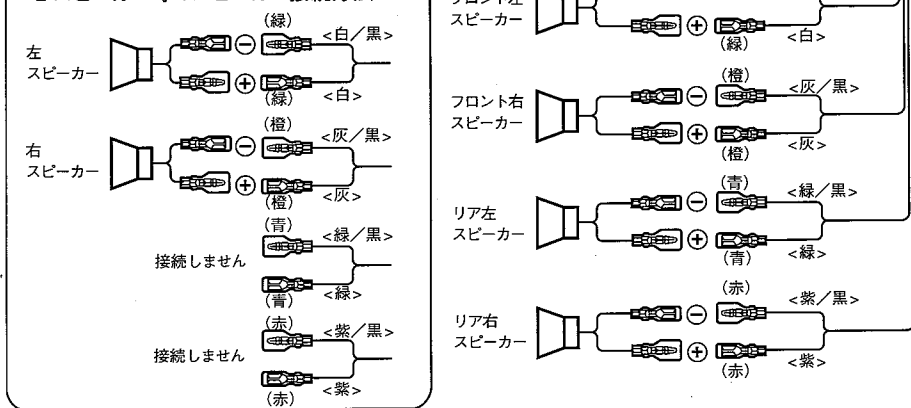
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。



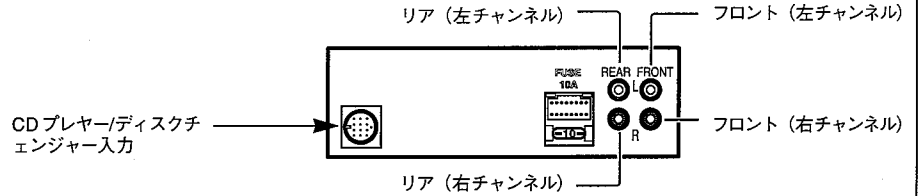
2スピーカー時のスピーカー接続方法



ディスクチェンジャー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

●CDプレーヤー/ディスクチェンジャー端子およびプリアウト端子の接続

プリアウト端子は別売品のRCAケーブルを使用して、別売品のパワーアンプに接続します。



プリアウト端子からは、操作確認音（ピープ音）は出力されません。

●本機の取り付け

付属のトラスネジ (M5×6mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ一覧

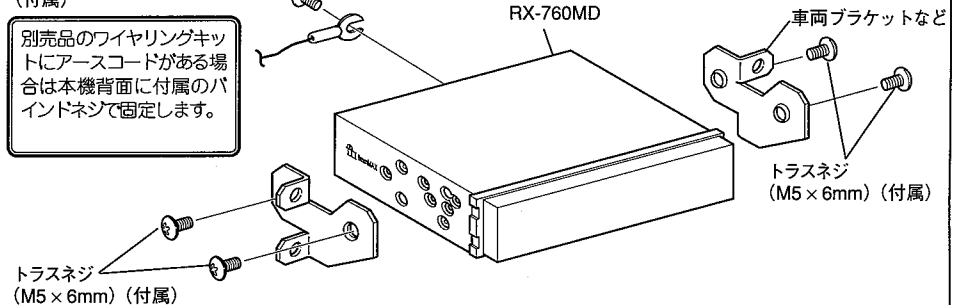
- トラスネジ (M5×6mm) 4
- バインドネジ (M4×6mm) 1



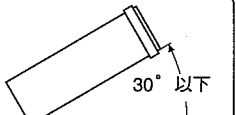
注意 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。

バインドネジ (M4×6mm) (付属)

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。



注意 ●本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
●操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

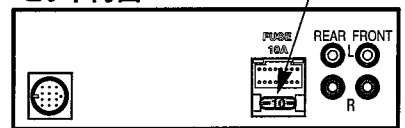


●ヒューズ交換のしかた



注意 ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

セット背面



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズが切れている。 入・出力/電源コードが間違っで接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 "接続・取り付けかた(⇨P.40)"を見て正しく接続してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターがONになっている。 音量が最小になっている。 フェーダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 スピーカーコードが間違っで接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターを解除してください。 音量を適度に上げてください。 フェーダー、バランスを調整してください。 "接続・取り付けかた(⇨P.40)"を見て正しく接続してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 ⇨P.8
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続・取り付けかた(⇨P.40)"を見てアンテナコントロール電源を接続してください。
MDモードにならない	MDをイジェクト中にディスプレイパネルを開めた。	イジェクトボタンを押して、再度MDを入れ直してください。
MDが入らない	すでにMDが入っている。	すでに入っているMDを取り出してから入れてください。
MDがローディングされない	MDの入れる方向が違う、または裏返しになっている。	MDを正しい方向に入れ直してください。
MDがローディングされても、出てくる	MDに何も記録されていない。	記録/録音されたMDに入れ替えてください。
振動により音飛びが飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が30°を越えている。 取り付けが不安定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 30°以下の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、MDの問題です。
音質が悪い(再生中ノイズが出る)	MDに傷や汚れなどが付いている。	他のMDを再生して問題がなければMD自身の音質です。
選曲動作をしても目的の曲にならない。	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフしてください。(P.24)

こんなとき

どうして

こうします

付けたディスクネームが違うディスクを再生時に表示される。	名前を付けたディスクと同じトラック数、総録音時間のため識別できない。	ディスクネーム表示はディスクのトラック数、総録音時間で表示する名前を識別しています。同じトラック数、総録音時間のディスクは識別できません。
MDやCDにディスクネームを付けたのに、ほかのプレーヤーで再生すると名前が表示されない。	ディスクネームプリセットはCDテキストやMDタイトルを記録する機能ではありません。	ディスクネームプリセットはディスクチェンジャーのメモリーに名前を保存しています。このため、名前を付けたときに使用していたディスクチェンジャー以外で使用してもディスクネームは表示されません。
ディスクネーム表示にするとNO NAMEと表示される。	再生中のディスクにディスクネームを登録していない。	ディスクネームを登録してください。
ディスクタイトル、トラックタイトル表示にするとNO TEXTと表示される。	再生中のCDがCD TEXT対応ではない。	CD TEXT対応のCDを使用してください。
セレクトバイファイルしてもNO ACCESと表示される。	<ul style="list-style-type: none"> マガジンにディスクがセットされていない。 ディスクマガジンにセットされてから、一度も再生されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> マガジンにディスクをセットしてください。 ディスクスキャンを行うなどして一度再生を行ってください。
ディスクネームモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクネーム表示になっていない。 本機でMDを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクネーム表示にしてください。 ディスクネームの登録はディスクチェンジャー/CDプレーヤーを使用中に行ってください。
車のライトスイッチをONにしてもディスプレイが減光されない。	<ul style="list-style-type: none"> ディママー設定がOFFになっている。 イルミネーションコードが接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ディママー設定(⇨P.18)をONにしてください。 "接続・取り付けかた(⇨P.40)"を見てイルミネーションコードを接続してください。


故障かな?と思ったら

●ディスクチェンジャーまたはCDプレーヤー（別売品）を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ディスクチェンジャーコントロールモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 (⇒P.8)
ディスクの演奏が始まらない	電源がオンになっていない。	電源をオンにした後、SRCボタンを押してディスクコントロールモードにしてください。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。(⇒P.8)
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。(⇒P.24)

●以下の表示で本機の状態をお知らせします。

以下の表示で システムの状態をお知らせします。

- EJECT** : ● ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。
● CDプレーヤーにディスクが入っていない。
など
- NO DISC** : ディスクチェンジャーのマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04** : ● ディスクが異常に汚れている。
● ディスクが裏返しになっている。
● ディスクにキズが多く付いている。
● ディスクが入っていない。
● ディスクマガジンにトレイが入っていない。
- BLANK** : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- NO TRACK** : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- E-99** : ● ディスクマガジンに異常がある。
● 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- HOLD** : 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。
-  : ● 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
⇒ 録音されたMDに入れ替えてください。
● MDプレーヤー部が正常に動作していない。
⇒ MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
チャンネルスペース	100 kHz
実用感度 (SN比: 30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N比: 50 dB 感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 (モノラル)	70 dB
選択度	≥ 80 dB (± 400 kHz)
ステレオセパレーション (1 kHz)	40 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz ~ 1629 kHz
チャンネルスペース	9 kHz
感度	28 dB μ (25 μ V)

MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=760\sim 800$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz (± 2 dB)
高周波歪率	0.5 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
チャンネルセパレーション	85 dB
回転数	400 ~ 800 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下

オーディオ部

最大出力	44 W \times 4
定格出力 (4 Ω , 1 kHz, 10%THD)	28 W \times 4
プリアウトレベル (CD/CDチェンジャー)	1800 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	$\leq 600 \Omega$
音質調整	バス (100 Hz)
トレブル (10 kHz)	± 10 dB

電源部

電源電圧 (アース)	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 160 mm
重量	1.8 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。